

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた熱中症対策について

平成26年5月27日

1. 背景

我が国では、平成22年度以降、熱中症患者の救急搬送患者が急増しており、平成25年度は約58,000人に到達している。2020年に開催が決定した、東京オリンピック・パラリンピックについては開催時期が7月24日～8月9日(オリンピック)及び8月25日～9月6日(パラリンピック)とされており、競技者や観客をはじめとする多くの人々が気温の高い時期に集中することが予想される。また、海外からの旅行者の増加も予想されるが、その中でも我が国より気候条件が涼しい地域からの渡航者については、日本の環境に慣れていないことから熱中症を発症するリスクが高いと考えられる。

2. 今後の検討について (案)

2020年東京オリンピック・パラリンピックでは、大会の性質上、例年と比べて熱中症患者発生リスクが高くなると予想されることから、通常熱中症対策に加え、大会による影響を踏まえた対策を充実、強化する必要がある。

このため、熱中症関係省庁連絡会議の各省庁において

- ① 平成27年度予算を含む、現在検討中のオリンピック・パラリンピック熱中症対策に関する情報共有
- ② 今後、対策が必要となる課題の整理
- ③ 2020年に向けた検討スケジュール

等について、検討を行った上で、関係省庁連絡会議幹事会等において、検討内容の報告を行うこととしてはどうか。